



廣本 昌久 議員

台風 21 号被害を
教訓に

防災計画に長期停電対策を盛り込むべきでは？

策定中の危機管理計画に位置付け適切な対応を取ります。

台風 21 号は、市内各地の

農林業に大きな被害と課題を残しました。地域によっては 6 日間の停電となり、皆様の不安、不便は計り知れず、多くの世帯で、食事も入浴もままならず、暗闇生活を余儀なくされたところです。

問 防災計画の中に「長期停電対策」を盛り込み、関西電力と連携しながら危機管理体制を整備すべきである。

答 政策部長
現在、策定中の「高島市危機管理基本計画」に、あらゆる危機事案を位置付け電気事業者等との連携を強化し適切な対応が取れるよう努めます。

問

冬を迎え倒木による孤立や、停電による生命の危険が考えられるが対策は出来ているのか。

答 政策部長

管理者における道路啓開を第一に考え、国・県・市・電気事業者・通信事業者等と早期に連携し、対応することとしています。

問

今回の台風で防災無線等見直す点が散見されたが、将来も異常気象が考えられる。各地での大災害に学び、「危機管理基本計画」に反映させて頂きたい。

答 政策部長

防災無線の中継局のバッテリーを改善をしますと共に、他地域での災害も改めて検証し、危機管理計画に反映します。

問

中学校校庭前に大木が根こそぎ十数本倒れたまま一ヶ月以上放置された状態であったが、安全面や、教育上も適切でない。今後考慮して頂きたい。

答 教育総務部長

危険度が低く、二次災害の恐れが少ない倒木につきましては、周辺への立ち入り禁止措置を指示した上で、処理に必要な経費を算定し、補正予算を計上して対応しています。



その他の質問

● 企業誘致の疑問点と今後の展開について